

ジャガイモ

ナス科ナス属の植物ジャガイモ。煮崩れしにくいので煮込み料理に最適のメークイン。デンプン質が多くホクホクした食感の男爵。甘みと香りの良いキタアカリなど、年々種類も豊富になり品種選びの楽しみも。



作型

種いもは毎年更新する。(自家用種いもはウイルス病にかかっている場合がある。) マルチ栽培すると早取りが可能となる。連作を嫌うので、ナス科(なす、トマト、ピーマン等)を2~3年作っていない場所を選ぶ。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 品 種 名 |
|-------|---|---|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----------------|
| 春 植 え | | | △△ | — | | ■ | ■ | | | | | | メークイン・男爵・キタアカリ |

△: 植え付け ■: 収穫

畑の準備・定植

| | |
|------------------|-------|
| 土づくり a当たり | |
| 堆肥 | 300kg |
| セルカ(有機石灰) | 5kg |
| 植え付け1ヶ月前に土とよく混合 | |
| 元肥 a当たり | |
| 醗酵鶏糞 | 20kg |
| 畝立時施用 | |

- 2条植え 畝幅100~120cm 株間30~40cm(条間40cm千鳥植え)
- 深さ10cmの溝を掘り、底に元肥を施用後、間土し、いもの切口を下に向けて植える。
- 覆土は種いもの厚さの3倍程度(5~10cm)

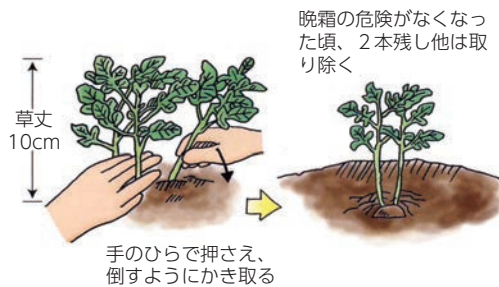
種いもの準備

30~40gの種いもを用いる。60g以上のいもは30~40gとなるよう(芽が全て均等に付くよう)に切り、陰干し乾燥させる。



間引き・追肥・土寄せ

- 草丈10cm頃:
肥大促進のために太く大きい芽を2~3本残し、野菜専用肥料4~5kg/aを施用後、土寄せを行う。
- 草丈15~30cm頃:
株元に5cmの厚さに土寄せをする。(2回程度)



防除

| 病虫害名 | 耕種防除 | 農薬による防除 |
|-----------|--------------|-----------------------------|
| アブラムシ類 | 光反射テープを畝上に張る | トレボン乳剤 1,000倍 収穫7日前まで 3回以内 |
| テントウムシダマシ | 捕殺を行う | スミチオン乳剤 1,000倍 収穫3日前まで 6回以内 |

収穫

- 地上部が枯れるまでいもは肥大し続ける。
- 3~4日晴天が続く、土が乾いている時に傷付けないように掘る。雨が続けているときに収穫すると、腐りやすくなります。(新しいいもは皮が弱いので、丁寧に掘り取る。)

貯蔵

収穫したら積み上げないようにして日陰で乾かす



直射日光に当たると緑化し品質を損ねる



キュウリ



夏の食卓によく見かける青々としたキュウリ。
夏に不足しがちな水分の補給や利尿作用に効果があります。

作型

育苗と直まきを組み合わせると長期間収穫できる。接ぎ木苗は土壤病害の心配が少ない。夏場の土壤乾燥を防ぐ。肥切れさせないこと。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 品 種 名 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|------------------|
| 春 植 え | | | ○ | △ | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | 北進、夏すずみ、鈴成四葉、新北進 |

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

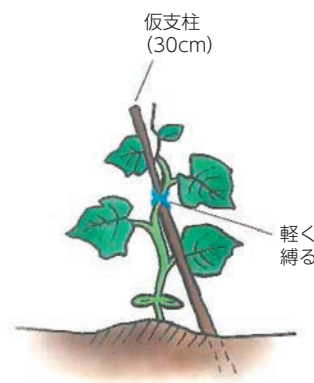
| | |
|------------------|-------|
| 土づくり a当たり | |
| 堆肥 | 400kg |
| セルカ（有機石灰） | 10kg |
| 植え付け1ヶ月前に土と良く混合 | |
| 元肥 a当たり | |
| 野菜専用肥料 | 10kg |
| 醗酵鶏糞 | 30kg |
| 畝立時施用 | |



植え穴に笛をおく



周りの土を寄せて
根鉢の周囲を埋める



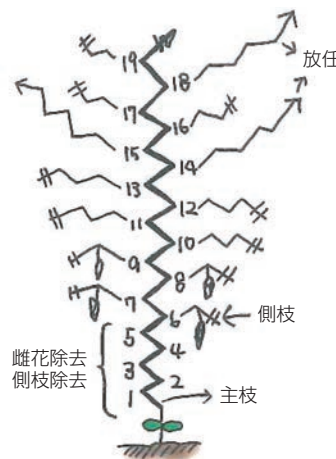
仮支柱
(30cm)

軽く
縛る

- 2条植え：畝幅150cm
- 株間：60cm
- 本葉3～4枚の苗を植える。
- 風の強い日の午前中に定植位置をやや高くして植え付ける。

整枝

- 主枝5節までの側枝、雌花は除去する。
- 主枝6節以降から出る側枝は1～2節で摘芯するが、2～3本の側枝は伸ばしておく。
- 主枝は支柱の高さで摘芯する。



主枝の6節目以降から出る側枝は1～2節で摘芯するが、主枝摘芯時、2～3本の側枝は放任しておく。

追肥・敷きわら

- 収穫開始前から10日ごとに追肥する。(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。

防除

| 病害虫 | 耕種的防除 | 薬剤防除 |
|-----------------|-----------|---------------------------------------|
| つる枯病 | 連作を避ける | トップジンM水和剤 1,500～2,000倍 収穫前日まで 5回以内 |
| べと病 | 排水を良くする | ダコニール1000 1,000倍 収穫前日まで 8回以内 |
| ウリハムシ (ウリバエ) | 光反射マルチを行う | マラソン乳剤 1,000倍 収穫前日まで 3回以内 |
| アブラムシ類 | 光反射マルチを行う | オルトラン粒剤 1～2g/株(植穴又は株元土壌混和) 定植時 1回 |

収穫

- 大きくしないで早目に収穫することが、樹勢を長持ちさせるポイント。